



エコドライブのための点検整備

(1) エアフィルターの点検

① 実施内容

エアフィルターが目詰まりすると吸入する空気の量が減り、エンジン内での燃焼が十分に行われず**燃費が悪化**するだけでなく、**出力の低下や黒煙の増加**も引き起こしますので、しっかり点検しましょう。

② 要点

- ・ドライタイプ（乾式）のエアフィルターは、エレメントを取外して内側から**圧縮空気を吹き付け**、目詰まりしている**ゴミやホコリを取り除きます**。汚れがひどい場合には、交換しましょう。ビスカスタイプ（湿式）のものは、**エレメント自体を交換**します。
- ・特に空気を多く必要とする**ターボエンジン**では、**燃費への影響が大きくなります**ので注意しましょう。



③ 効果（影響）

- ・エアフィルターが目詰まりすると、**燃費は3～5%悪化**します。

（出典：いすゞ自動車（株）「管理者のためのエコドライブマニュアル」より）

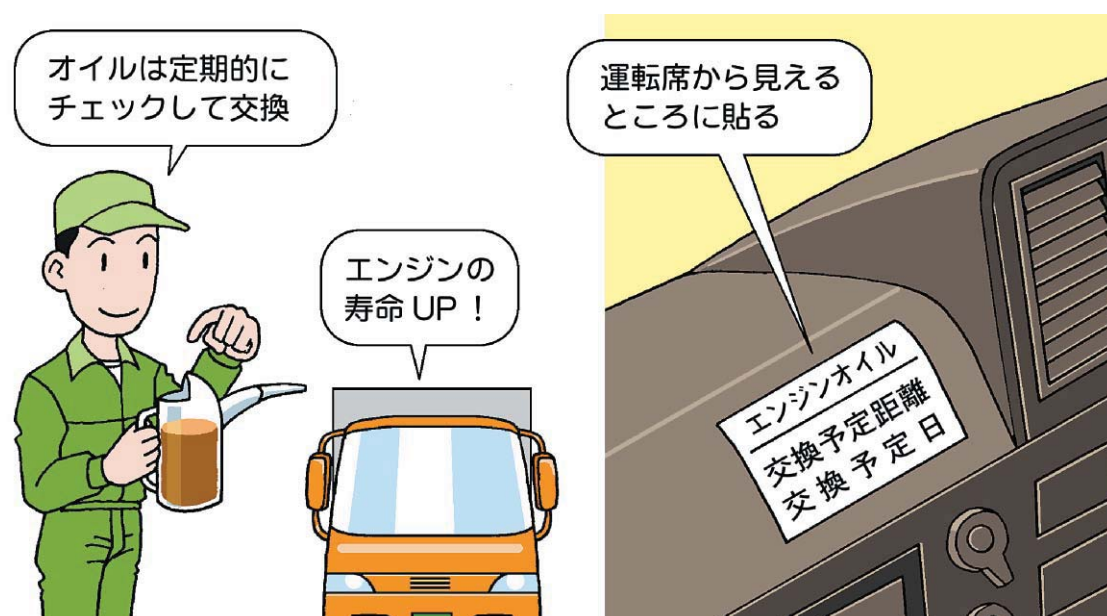
(2) エンジンオイルの管理

① 実施内容

エンジンオイルは劣化しますので、**走行距離や使用期間に応じて定期的に交換**しましょう。

② 要点

- ・ エンジンオイルを**寿命以上に使用**すると、オイルの粘度が高くなり、**エンジンを傷め燃費も悪化**します。
- ・ オイルは、種類によって適用範囲や交換時期が異なりますので、使用しているオイルを確認し交換しましょう。
- ・ エンジンオイルの交換予定距離・交換予定日を、運転席から見えるところに貼っておくことも一つの方法です。
- ・ **エンジンオイルの量と、オイルエレメントの交換時期にも留意**しましょう。



③ 効果（影響）

- ・ エンジンオイルの管理を適切にすると、**燃費の改善とエンジンの寿命延長に繋が**ります。
- ・ マルチグレードエンジンオイル（高性能油）は、広い温度帯で使用可能なオイルであり、始動性に優れ、季節で使い分ける必要がなく、3%程度の燃費改善も期待できると言われています。（出典：出光興産（株）大型車 100km / h 走行の場合）

(3) タイヤの適正な空気圧

① 実施内容

タイヤの空気圧は、燃費や安全と密接な関係がありますので、空気圧を常に適正に保ちましょう。



② 要点

- ・ タイヤの指定空気圧は、運転席のドア内側などに表記されていますので、必ず指定空気圧を守りましょう。
- ・ **タイヤの空気は徐々に抜けていきますので、定期的にタイヤゲージで空気圧をチェックしましょう。**走行直後はタイヤが発熱して空気圧も変化しておりますので、**タイヤが冷えた状態でチェックしましょう。**
- ・ 高速走行の前にも、空気圧が適正かどうか確認しましょう。

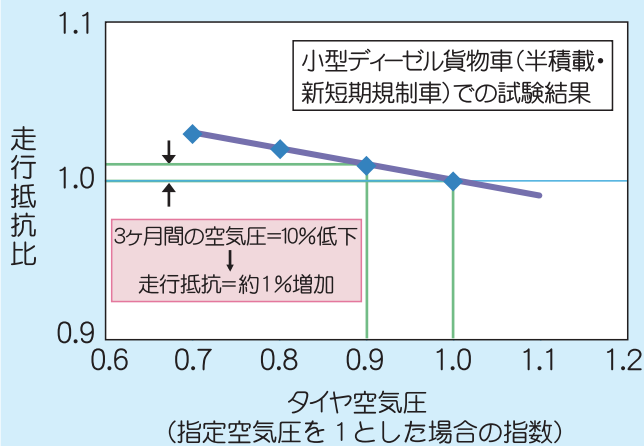
③ 効果（影響）

- ・ タイヤの空気圧が不足すると、燃費の悪化やタイヤの偏摩耗、破裂等の原因となり、空気圧が高いと燃費はよくなりますが、タイヤのグリップ力の低下や乗り心地の悪化に繋がります。
- ・ タイヤの空気圧が著しく低いまま高速走行を続けると、**スタンディングウェーブ現象**（タイヤの回転が速くなると接地部で生じたタイヤの変形が、接地が終わりでも復元せず、後方に振動の波となって残る現象）を起こす可能性があり、そのまま走行を続けるとバーストに繋がります。

タイヤの空気圧の影響

空気圧が高い場合	空気圧が低い場合
<ul style="list-style-type: none">・バースト(破裂)や内部コードの切断・接地面中心の摩耗・短寿命化・乗り心地の悪化	<ul style="list-style-type: none">・接地面とコード層の剥離・接地面端部の摩耗・短寿命化・燃費の悪化

タイヤの空気圧と走行抵抗比



タイヤ空気圧が10%低下すると走行抵抗は約1%増加する。



タイヤ空気圧を日々管理することで燃費の悪化は防げる。

(出典：(一財)環境優良車普及機構「エコドライブのすすめ」より)